

水産業界をリードする情報誌

日刊  
速報

# 水産タイムス

THE SUISAN TIMES

発行所 株式会社 水産タイムズ社  
編集発行人 越川宏昭  
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6  
TEL03(3456)1411 FAX03(3456)1416  
ホームページ <http://www.suisantimes.co.jp/>  
e-mail [suisan@suisantimes.co.jp](mailto:suisan@suisantimes.co.jp)  
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)  
購読料 1ヵ月 5,280円(税別 4,800円)  
6ヵ月31,680円(税別28,800円)



2021年(令和3年)  
4月15日(木) 第13514号

## “フィッシュプロテイン” 徐々に浸透

日かま協、消費者イベントなども検討

一般社団法人日本かまぼこ協会(東京都千代田区、下村全宏会長)は、魚肉ねり製品が良質なタンパク質を含むことから、2020年11月15日の「かまぼこの日」を皮切りに、「フィッシュプロテイン」をキーワードとしたねり製品の需要を促進する活動を展開している。消費者の健康志向が高まる中、低脂質・低カロリーのタンパク源としてねり製品への注目が高まっており、商品にフィッシュプロテインマークを導入する会員メーカーも増えている。

フィッシュプロテインマークは、フィッシュプロテインの認知拡大を目的に、日本かまぼこ協会が定めた基準(製品中に含まれる魚肉タンパク質含有量が、8.1g/100g以上、または4.1g/100kcal以上)を満たした商品に表示できる。

「審査などは不要で、届け出をすれば、基準をクリアしている製品にフィッシュプロテインマークを表記することができる」(日本かまぼこ協会の奥野勝専務理事)。

同協会ではロゴマークと一緒に、「パッと使え



て、パッと栄養!」「パッと使えて、パッとお魚!」「魚がおいしい、家族がうれしい!」の3つのキャッチコピーを作成。会員メーカーはマークと一緒に、キャッチコピーを使用できる。

「フィッシュプロテイン」マークを表記している

る会員メーカーの商品数は22社・160商品(2021年3月1日現在)に上る。

同協会では、消費者にタンパク質の重要性やロゴマークの意味をわかりやすく説明する「フィッシュプロテイン」特設ページを協会ホームページ内に開設している。

奥野専務は「春夏と秋冬の商品改編に合わせて、マークを導入する企業が増えている。注目度も高く、様々なメディアなどの取材も受けた。今後はさらに消費者への認知度アップをめざし、PRイベントの開催も検討している」としている。

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 全漁連、加藤官房長官らに抗議……………     | 2 |
| JCFU「海洋放出決定の撤回を」……………   | 2 |
| 古野電気、高機能魚群探知機を開発……………   | 2 |
| 米国で調査「天然・ヘルシー重視」9割…………… | 3 |
| コストコ、アラスカ産明太子販促強化……………  | 3 |
| ファミチキ、かねふく明太子とコラボ……………  | 4 |
| 未利用魚の猫缶風水煮缶で社会貢献……………   | 4 |

すき家、毎年好評「うな牛」など発売…………… 4

### 業界人物スポット

(株)大崎水産

代表取締役社長

おおさき けいすけ  
大崎 桂介氏